

団地学校統廃合問題

菱野団地の適正規模・適正配置に関する計画案が

子どもの学び・発達を全面的に保障するか

瀬戸市議会議員 新井亜由美

学校統廃合の目的は何か

「子どもたちにとって望ましい教育環境の整備を実現する」

- ・小規模校=不適切な教育環境？
- ・「瀬戸市公共施設等総合管理計画」⇒公共面積の削減ありき？
- ・「菱野団地再生計画」との整合性？

市の掲げる「適正規模・適正配置」の矛盾

2020年（令和2）4月瀬戸市立にじの丘学園開校

- ・「小学校12～18学級を標準とする」として、5小学校2中学校を統廃合
- ・2020年4月・・・小学校20学級（児童生徒854人）
- ・2020年4月・・・小学校22学級（児童生徒1020人）※2021年度末推計
- ・数年先には教室不足も予想される」と教育委員会も認める

市としての「最善案」を示したと言うが

起案から計画案決定わずか5ヶ月

- ・教育部での協議の後関係部署への相談（2021年6月～2021年11月）
- ・校長、現場の教職員への意見聴取は無し
- ・「今後、学校に関わりのある多くの方に意見を聞き可能な限り盛り込む」

特別支援学校についての認識の甘さ

開校13年目の瀬戸特別支援学校瀬戸さくらんぼ学園

- ・自立活動室がない、特別教室が共有で使えない、温水プールがない
- ・統廃合案に記された「ノーマライゼーション」「特別支援学校（さくらんぼ学園）を光陵中学校に統合する（小・中・高等部が同じ校舎）」
- ・瀬戸・尾張旭・長久手の子どもたちが通う特別支援学校

当事者の声で動かし始めた

保護者と教員との連携で前進

- ・一般質問を考えるにあたり
教員の皆さんの協力（さくらんぼ学園の校長、瀬教労、愛高教）
保護者と Zoom で意見交換（2 日間で延べ約 20 人）
- ・教育委員会は、「さくらんぼ学園のことは丁寧に対応した」と対応
- ・市長は、さくらんぼ学園の保護者役員と懇談
- ・瀬戸市障害者手当廃止に関わる署名活動の力

3 小学校の統廃合は推進

原山・萩山・八幡小学校の保護者の願いは統合なのか

- ・地元の自治会などは学校区統廃合賛成「小中一貫校を作って欲しい」
- ・外国ルーツの家庭が多い地域特性に配慮が必要
- ・住宅地として「ポテンシャルが高い」菱野団地の人口推移掴めていない
- ・にじの丘学園の検証が不十分なまま

さくらんぼ学園保護者、教員の要求運動

愛高教の皆さんと保護者会との連携

- ・いち早く教育委員会に懇談を申し入れた愛高教（愛知県高等学校教職員組合）
- ・さくらんぼ学園を瀬戸に作るようになった過去の要求運動に感謝
- ・今後の子どもたちのためにがんばりたいと語る保護者役員